

2026年度（一社）鳥取青年会議所

委員長 所信書

委員長 岩渕 壮一郎

この度、教育支援委員会の委員長を拝命いたしましたこと、心より感謝申し上げます。委員長という大役を仰せつかった今、自身の成長だけではなく、共に歩む委員会メンバー全員が成長できるよう導く責任を深く感じております。

リーダーシップには様々な形があります。力強く引っ張るリーダーもいれば、仲間を信じ任せるリーダーもいます。その中で、私が目指すのは「支援型のリーダーシップ」です。

委員長が一方的に方向を示すのではなく、メンバーが自らの役割に責任と誇りを持ち、積極的に参画できるよう後押しすることこそ、理想の委員長像に近づく道だと考えています。

そのためには、私は三つの取り組みを重視します。第一に、メンバーと真摯に向き合い、それぞれに役割を担ってもらうことで、責任感とやりがいを共有していきます。人は役割

を持つことで主体性を発揮し、成長につながります。第二に、副委員長や委員長の仕事を積極的にみてもらい、将来自らが役職を担う時に困らないよう学びの場を提供していきます。

経験の蓄積が次代のリーダーを育てると信じているからです。第三に、情報共有を徹底し、委員会に参加できなかったメンバーが取り残されることのない環境をつくります。

安心して意見を述べ合える雰囲気を築くことが、委員会全体の力を最大限に高めることにつながると考えています。

教育支援は、私自身の社業とも通じる分野であり、得意とする部分でもあります。しかし同時に自分一人の視点だけでは見落としてしまう課題や新しい可能性があると感じています。

だからこそ、委員会メンバー全員で意見を出し合い、多角的な視点で事業を構築することが不可欠です。多様な価値観を取り入れながら議論を重ねることで、より質の高い事業が生まれ、地域社会に貢献できると思います。

1年間の活動を通じて、委員会がただの事業遂行の場ではなく、メンバー一人一人の自己成長の場となることを目指します。そして、その過程の中で、私自身も理想の委員長像に

近づけるよう全力を尽くしてまいります。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42